

～ 遺伝資源の取り扱いに関するミニシンポジウム ～

筑波大学は、AMED 補助事業ナショナルバイオリソースプロジェクト (NBRP) 情報整備プログラムの ABS 対応課題分担機関 (中核機関は遺伝研) の一つとして、海外遺伝資源の取得支援を実施しています。

このたびは、形質転換植物デザイン研究拠点令和元年度成果発表会との共同開催*で、海外からの遺伝資源取得について、基礎から実践までの幅広い情報提供をさせていただきます。

*成果発表会に関係のない方で、当シンポジウムのみに参加される方は
当日、会場の「NBRP 補助事業用 受付」にお申し出ください。

日時：2020年3月9日(月) 13:45-14:45

会場：筑波大学 筑波キャンパス 春日エリア
情報メディアユニオン3階 共同研究会議室1階
つくば市春日1丁目2

春日エリアへのアクセス

<http://www.slis.tsukuba.ac.jp/grad/access/access/>

情報メディアユニオンの春日エリア内位置

<http://www.global.tsukuba.ac.jp/map/kasuga-area/union-library-and-information-media-studios?language=ja>

<講演及び質疑応答>

海外から取得する遺伝資源の取り扱い

渡邊 和男 教授

筑波大学 生命環境系/

つくば機能植物イノベーション研究センター

* * *

【参加申込先】

参加者様のご所属機関、部署名、お名前を、
筑波大学 生命環境系 岡田 (okada.yoshihiro.gn[AT]u.tsukuba.ac.jp) まで
開催日前日までに申し込みください(書式自由)。

※ メールタイトルは「NBRP 筑波大学申込」でお願いいたします。

※ 送信時には上記アドレスの[AT]部分を@に変更してください。

主催： 筑波大学 つくば機能植物イノベーション研究センター